



リリースノート Cloud Sync

NetApp
July 19, 2022

This PDF was generated from <https://docs.netapp.com/ja-jp/cloud-manager-sync/whats-new.html> on July 19, 2022. Always check docs.netapp.com for the latest.

目次

リリースノート	1
Cloud Sync の新機能	1
制限	13

リリースノート

Cloud Sync の新機能

Cloud Sync の新機能をご確認ください。

2022年7月3日

Azure Data Lake Storage Gen2のサポート

NFSサーバまたはSMBサーバからAzure Data Lake Storage Gen2へデータを同期できるようになりました。

Azureデータレイクを含む同期関係を作成する場合は、Cloud Sync にストレージアカウントの接続文字列を指定する必要があります。共有アクセスシグニチャ（SAS）ではなく、通常の接続文字列である必要があります。

"サポートされている同期関係のリストを表示します"。

Google Cloud Storageからの継続的な同期

ソースのGoogle Cloud Storageバケットからクラウドストレージターゲットへ、継続的な同期設定がサポートされるようになりました。

Cloud Sync は、初回のデータ同期後、ソースのGoogle Cloud Storageバケットで変更をリسنし、変更が発生した場合はターゲットに継続的に同期します。この設定は、Google Cloud StorageバケットからS3、Google Cloud Storage、Azure BLOBストレージ、StorageGRID、またはIBMストレージに同期する場合に使用できます。

データブローカーに関連付けられているサービスアカウントでこの設定を使用するには、次の権限が必要です。

```
- pubsub.subscriptions.consume
- pubsub.subscriptions.create
- pubsub.subscriptions.delete
- pubsub.subscriptions.list
- pubsub.topics.attachSubscription
- pubsub.topics.create
- pubsub.topics.delete
- pubsub.topics.list
- pubsub.topics.setIamPolicy
- storage.buckets.update
```

"Continuous Syncの詳細については、こちらをご覧ください"。

新しいGoogle Cloudリージョンサポート

Cloud Sync データブローカーがGoogle Cloudの次のリージョンでサポートされるようになりました。

- コロンバス (us-east5)
- ダラス (US -サウス1)
- マドリード (ヨーロッパ-南西部1)
- ミラノ (ヨーロッパ-西8)
- パリ (ヨーロッパ-西9区)

新しいGoogle Cloudマシンタイプ

Google Cloudのデータブローカーのデフォルトのマシンタイプは、n2 -標準-4になりました。

2022年6月6日

継続的な同期

新しい設定を使用すると、ソースのS3バケットからターゲットに変更を継続的に同期できます。

初期データ同期が完了すると、Cloud Sync はソースS3バケットで変更をリスンし、ターゲットへの変更が発生した場合はその変更を継続的に同期します。ソースを定期的に再スキャンする必要はありません。この設定は、S3バケットからS3、Google Cloud Storage、Azure BLOBストレージ、StorageGRID、またはIBMストレージに同期する場合にのみ使用できます。

データブローカーに関連付けられているIAMロールでは、この設定を使用するために次の権限が必要です。

```
"s3:GetBucketNotification",
"s3:PutBucketNotification"
```

これらの権限は、新しく作成したすべてのデータブローカーに自動的に追加されます。

["Continuous Syncの詳細については、こちらをご覧ください"](#)。

すべてのONTAP ボリュームを表示します

同期関係を作成するときに、ソースCloud Volumes ONTAP システム、オンプレミスONTAP クラスタ、またはCloud Sync ONTAP ファイルシステムのFSXにすべてのボリュームが表示されるようになりました。

以前は、Cloud Sync では、選択したプロトコルに一致するボリュームのみが表示されていました。すべてのボリュームが表示されますが、選択したプロトコルに一致しないボリュームや、共有やエクスポートがないボリュームはグレー表示され、選択できません。

Azure Blobへのタグのコピー

Azure Blobがターゲットである同期関係を作成する際に、Cloud Sync でタグをAzure BLOBコンテナにコピーできるようになりました。

- [設定 (* Settings)] ページでは、[*オブジェクトのコピー (* Copy for Objects *)] 設定を使用して、ソースからAzure BLOBコンテナにタグをコピーできます。これは、メタデータのコピーに加えて機能します。

- * Tags/Metadata*ページで、Azure BLOBコンテナにコピーされるオブジェクトに設定するBLOBインデックスタグを指定できます。以前は、関係のメタデータしか指定できませんでした。

これらのオプションは、Azure Blobがターゲットで、ソースがAzure BlobエンドポイントまたはS3互換エンドポイント（S3、StorageGRID、IBM Cloud Object Storage）の場合にサポートされます。

2022年5月1日

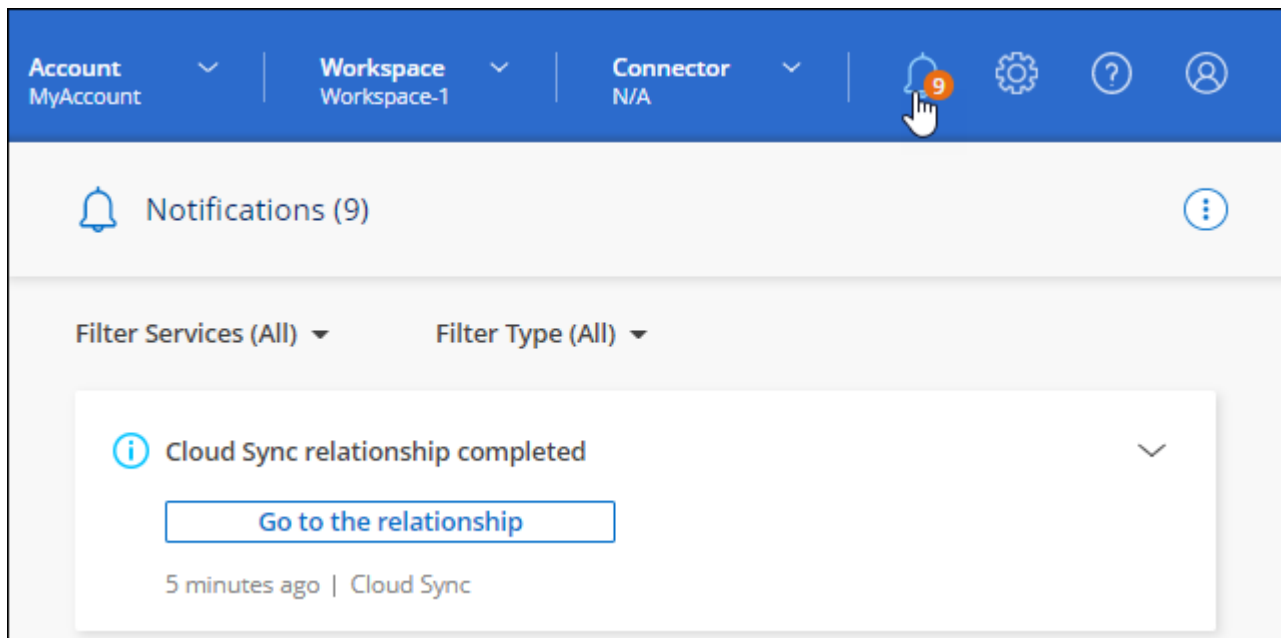
同期タイムアウト

新しい* Sync Timeout *設定を同期関係に使用できるようになりました。この設定を使用すると、指定した時間数または日数内に同期が完了していない場合にCloud Sync でデータの同期をキャンセルするかどうかを定義できます。

"同期関係の設定の変更の詳細については、こちらをご覧ください"。

通知

新しい* Notifications *設定を同期関係に使用できるようになりました。この設定を使用すると、Cloud Sync 通知をCloud Managerの通知センターで受信するかどうかを選択できます。データの同期が成功した場合、データの同期が失敗した場合、データの同期がキャンセルされた場合の通知を有効にできます。



"同期関係の設定の変更の詳細については、こちらをご覧ください"。

2022 年 4 月 3 日

データブローカーグループの機能拡張

データブローカーグループには、次のような機能拡張が行われました。

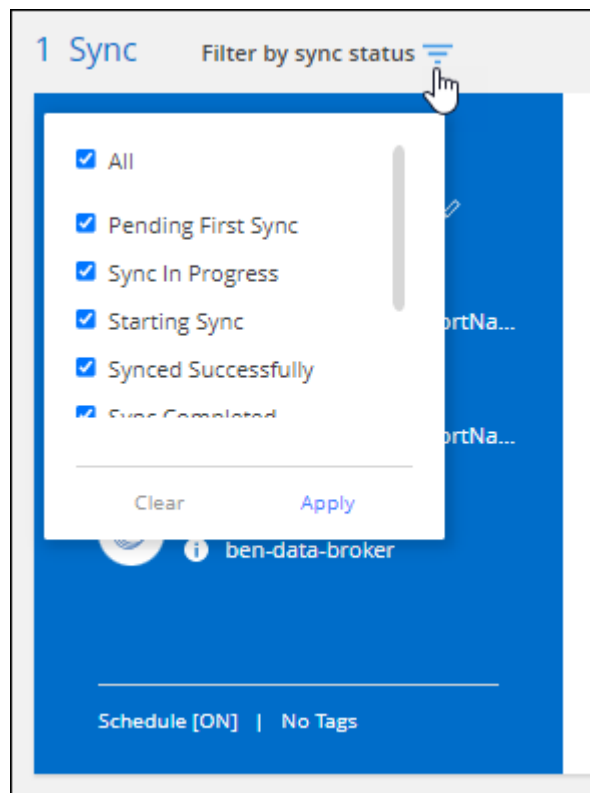
- データブローカーを新規または既存のグループに移動できるようになりました。
- データブローカーのプロキシ設定を更新できるようになりました。

- 最後に、データブローカーグループを削除することもできます。

"データブローカーグループの管理方法について説明します"。

ダッシュボードフィルタ

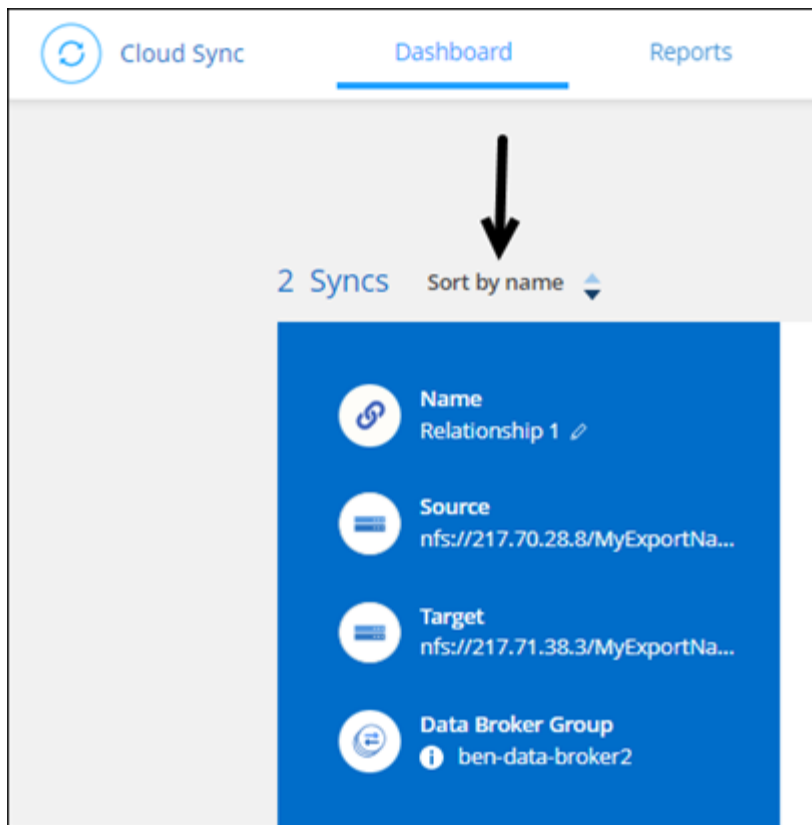
Sync Dashboard の内容をフィルタリングして、特定のステータスに一致する同期関係を簡単に見つけることができるようになりました。たとえば、ステータスが「失敗」の同期関係をフィルタリングできます



2022 年 3 月 3 日

ダッシュボードでソートします

ダッシュボードを同期関係名でソートできるようになりました。



オプションを示すスクリーンショット。"]

データセンスの統合の強化

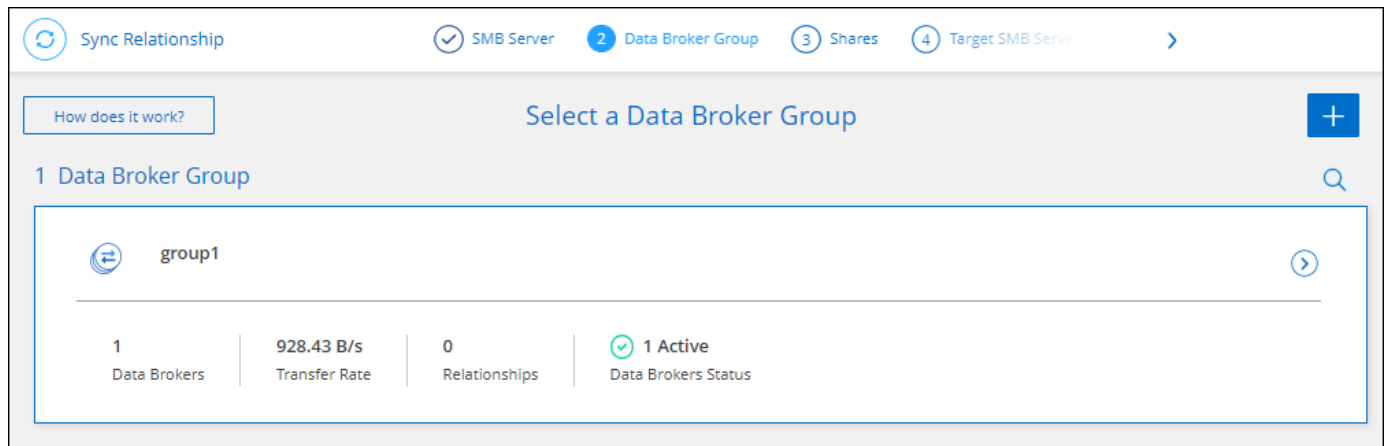
以前のリリースでは、Cloud Sync とクラウドデータセンスの統合を導入しました。この更新プログラムでは、同期関係を簡単に作成できるように統合を強化しました。Cloud Data Sense からデータ同期を開始すると、すべてのソース情報が 1 つの手順で表示されるため、重要な情報をいくつか入力するだけで済みます。

2022 年 2 月 6 日

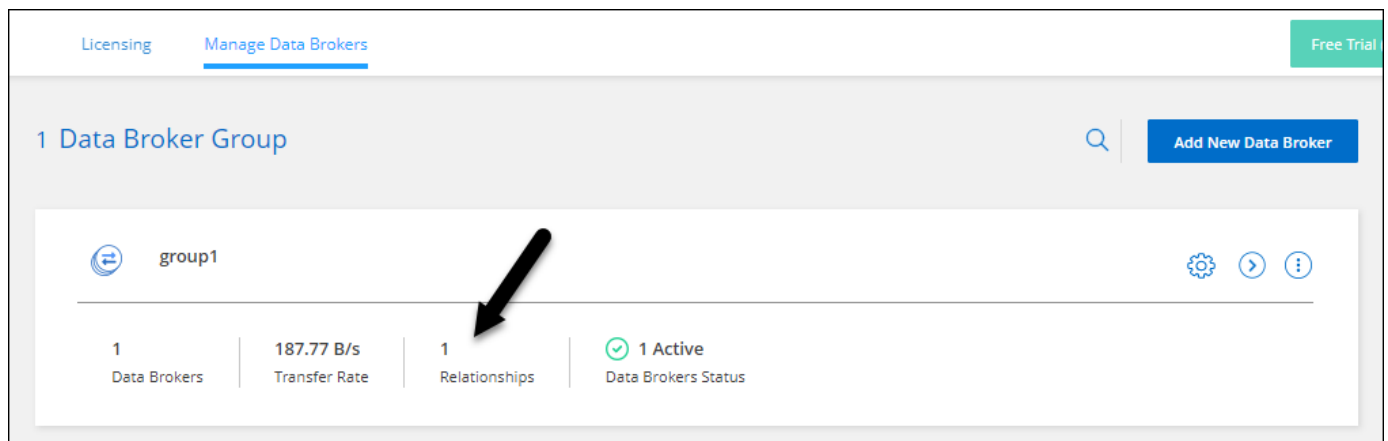
データブローカーグループの機能拡張

データブローカーの操作方法は、dataBroker_groups_を 強調するように変更されました。

たとえば、新しい同期関係を作成する場合は、特定のデータブローカーではなく、データブローカーの _GROP_To がその関係で使用するよう選択します。



[データブローカーの管理 *] タブには、データブローカーグループが管理している同期関係の数も表示されます。



PDF レポートをダウンロードできます

レポートの PDF をダウンロードできるようになりました。

"レポートの詳細については、[こちらをご覧ください](#)。"

2022 年 1 月 2 日

新しい **Box** 同期関係

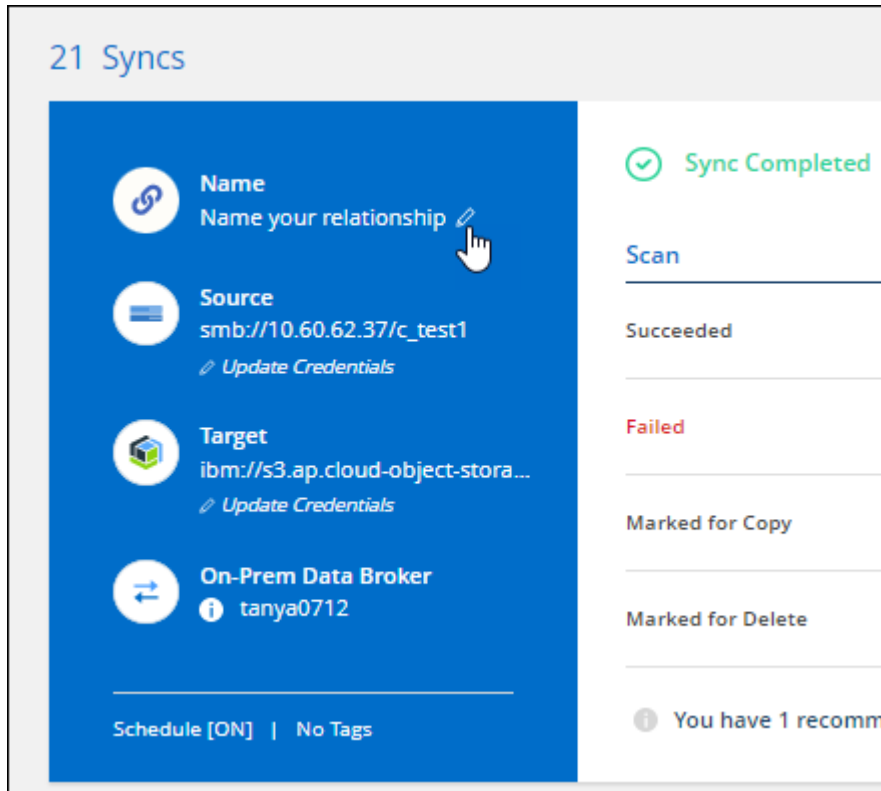
2 つの新しい同期関係がサポートされています。

- Box to Azure NetApp Files の略
- Box から Amazon FSX for ONTAP に移動します

"サポートされている同期関係のリストを表示します"。

関係名

同期関係ごとにわかりやすい名前を指定できるようになり、各関係の目的を簡単に特定できるようになりました。この名前は、関係の作成時および作成後にいつでも追加できます。



S3 プライベートリンク

Amazon S3 との間でデータを同期する際に、S3 プライベートリンクを使用するかどうかを選択できます。データブローカーは、ソースからターゲットにデータをコピーする際、プライベートリンクを経由します。

データブローカーに関連付けられている IAM ロールでは、この機能を使用するために次の権限が必要です。

```
"ec2:DescribeVpcEndpoints"
```

この権限は、作成した新しいデータブローカーに自動的に追加されます。

Glacier のインスタント検索

Amazon S3 が同期関係のターゲットである場合に、_Glacier Instant Retrieve_storage クラスを選択できるようになりました。

オブジェクトストレージから SMB 共有への ACL

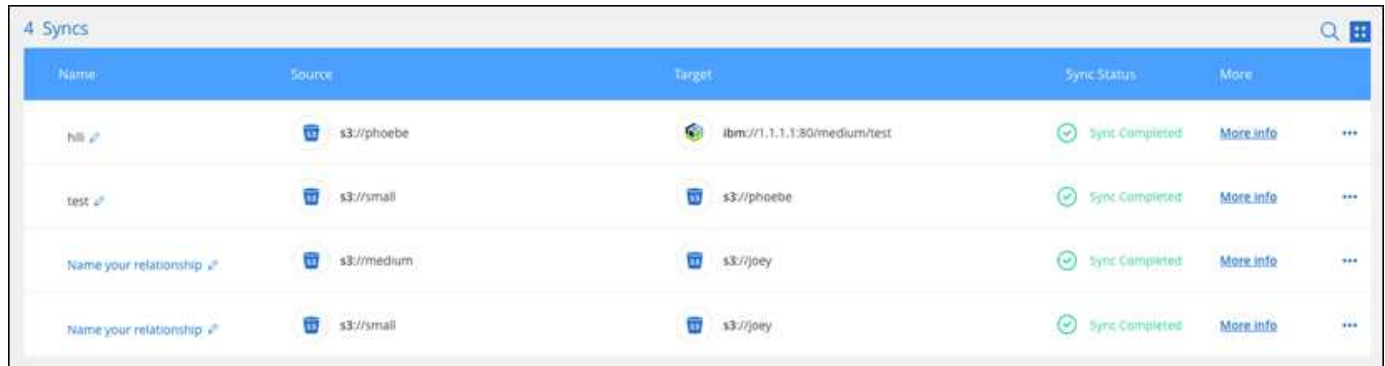
Cloud Sync で、オブジェクトストレージから SMB 共有への ACL のコピーがサポートされるようになりました。これまでは、SMB 共有からオブジェクトストレージへの ACL のコピーのみがサポートされていました。

S3 への SFTP を使用します

SFTP から Amazon S3 への同期関係の作成がユーザーインターフェイスでサポートされるようになりました。この同期関係は、以前は API でのみサポートされていました。

テーブルビューの拡張機能

ダッシュボードのテーブルビューを再設計して使いやすくしました。詳細情報 * をクリックすると、ダッシュボードが Cloud Sync でフィルタされ、その関係に関する詳細情報が表示されます。



Name	Source	Target	Sync Status	More
hll	s3://phoebe	ibm://1.1.1.1:80/medium/test	Sync Completed	More info
test	s3://small	s3://phoebe	Sync Completed	More info
Name your relationship	s3://medium	s3://joey	Sync Completed	More info
Name your relationship	s3://small	s3://joey	Sync Completed	More info

Jarkarta 地域のサポート

Cloud Sync は、AWS アジア太平洋（ジャカルタ）リージョンでのデータブローカーの導入をサポートするようになりました。

2021 年 11 月 28 日

SMB からオブジェクトストレージへの ACL

ソースの SMB 共有からオブジェクトストレージ（ONTAP S3 を除く）への同期関係を設定する際に、Cloud Sync でアクセス制御リスト（ACL）をコピーできるようになりました。

Cloud Sync では、オブジェクトストレージから SMB 共有への ACL のコピーはサポートされていません。

["SMB 共有から ACL をコピーする方法について説明します"](#)。

ライセンスを更新します

拡張した Cloud Sync ライセンスを更新できるようになりました。

ネットアップから購入した Cloud Sync ライセンスを延長した場合は、ライセンスを再度追加して有効期限を更新できます。

["ライセンスを更新する方法について説明します"](#)。

Box の資格情報を更新します

既存の同期関係の Box クレデンシャルを更新できるようになりました。

["クレデンシャルを更新する方法について説明します"](#)。

2021 年 10 月 31 日

ボックスサポート

Cloud Sync ユーザーインターフェイスで Box サポートがプレビューとして利用できるようになりました。

Box は、複数のタイプの同期関係のソースまたはターゲットにすることができます。 ["サポートされている同期関係のリストを表示します"](#)。

作成日の設定

SMB サーバがソースの場合、 `_Date Created` という名前の新しい同期関係設定によって、特定の日付以前、特定の日付以前、または特定の時間範囲内に作成されたファイルを同期できます。

["Cloud Sync 設定の詳細については、こちらをご覧ください"](#)。

2021 年 10 月 4 日

追加のボックスサポート

Cloud Sync で追加の同期関係がサポートされるようになりました ["ボックス"](#) Cloud Sync API を使用する場合：

- Amazon S3 の機能です
- IBM Cloud Object Storage to Box の略
- StorageGRID To Box の略
- Box を NFS サーバに接続します
- Box を SMB サーバーに追加します

["API を使用して同期関係を設定する方法について説明します"](#)。

SFTP パスに関するレポート

次の操作を実行できます。 ["レポートを作成します"](#) SFTP パスの場合

2021 年 9 月 2 日

ONTAP の FSX のサポート

Amazon FSX for ONTAP ファイルシステムとの間でデータを同期できるようになりました。

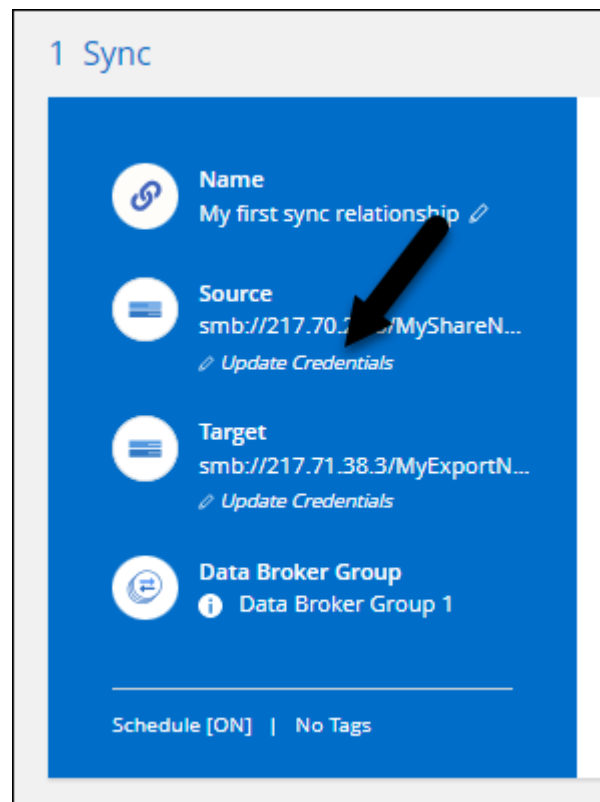
- ["Amazon FSX for ONTAP の詳細をご覧ください"](#)
- ["サポートされている同期関係を表示する"](#)
- ["Amazon FSX for ONTAP の同期関係を作成する方法について説明します"](#)

2021 年 8 月 1 日

クレデンシャルを更新

Cloud Sync で、既存の同期関係のソースまたはターゲットの最新のクレデンシャルを使用してデータブローカーを更新できるようになりました。

この拡張機能は、セキュリティポリシーで定期的にクレデンシャルを更新するように要求される場合に役立ちます。 "[クレデンシャルを更新する方法について説明します](#)"。



ページの [資格情報の更新] オプションを示すスクリーンショット。"]

オブジェクトストレージターゲットのタグ

同期関係を作成するときに、同期関係内のオブジェクトストレージターゲットにタグを追加できるようになりました。

タグの追加は、Amazon S3 、 Azure Blob 、 Google Cloud Storage 、 IBM Cloud Object Storage 、 および StorageGRID でサポートされています。

<

✓ AWS S3 Bucket

✓ Settings

6 Tags/Metadata

7 Review

Relationship Tags

Cloud Sync assigns the relationship tags to all of the files transferred to the S3 bucket.

This enables you to search for the transferred files by using the tag values.

☒ Save on Object's Tags ☐ Save On Object's Metadata

Tag Key

Up to 128 characters

Tag Value

Up to 256 characters

+ Add Relationship Tag

Optional Field | [Up to 5]

Box のサポート

Cloud Sync は現在サポートされています **"ボックス"** Cloud Sync API を使用する際に、Amazon S3、StorageGRID、IBM Cloud Object Storage との同期関係のソースとして使用。

["API を使用して同期関係を設定する方法について説明します"](#)。

Google Cloud のデータブローカー用パブリック IP

Google Cloud にデータブローカーを導入する際に、仮想マシンインスタンスに対してパブリック IP アドレスを有効にするか無効にするかを選択できるようになりました。

["Google Cloud にデータブローカーを導入する方法をご確認ください"](#)。

Azure NetApp Files 用のデュアルプロトコル・ボリューム

Azure NetApp Files のソースボリュームまたはターゲットボリュームを選択した場合、同期関係用に選択したプロトコルに関係なく、Cloud Sync にデュアルプロトコルボリュームが表示されるようになりました。

2021 年 7 月 7 日

ONTAP S3 ストレージと Google Cloud Storage

Cloud Sync のユーザーインターフェイスで、ONTAP S3 ストレージと Google Cloud Storage バケットの間の同期関係がサポートされるようになりました。

["サポートされている同期関係のリストを表示します"](#)。

オブジェクトメタデータタグ

同期関係を作成して設定を有効にすると、Cloud Sync でオブジェクトベースのストレージ間でオブジェクトのメタデータとタグをコピーできるようになりました。

["\[オブジェクトのコピー 設定の詳細については、を参照してください\]"](#)。

橋本事業者のためのサポート

Google Cloud サービスアカウントで認証することで、外部の橋本 Vault からクレデンシャルにアクセスするようにデータブローカーを設定できるようになりました。

["データブローカーでの橋 Corp Vault の使用の詳細を確認"](#)。

S3 バケットのタグまたはメタデータを定義する

Amazon S3 バケットとの同期関係を設定する際に、ターゲットの S3 バケット内のオブジェクトに保存するタグまたはメタデータを同期関係ウィザードで定義できるようになりました。

タグ付けオプションは、以前は同期関係の設定に含まれていました。

2021 年 6 月 7 日

Google Cloud のストレージクラス

同期関係のターゲットが Google Cloud Storage バケットの場合、使用するストレージクラスを選択できるようになりました。Cloud Sync では、次のストレージクラスがサポートされます。

- 標準
- ニアライン
- コールドライン（Coldline）
- Archive サービスの略

2021 年 5 月 2 日

レポート内のエラー

レポートで見つかったエラーを表示し、最後のレポートまたはすべてのレポートを削除できるようになりました。

["レポートを作成して表示する方法の詳細については、を参照してください 設定"](#)。

属性を比較します

同期関係ごとに新しい * Compare by * 設定を使用できるようになりました。

この詳細設定では、ファイルまたはディレクトリが変更されたために再度同期する必要があるかどうかを判断するときに、Cloud Sync で特定の属性を比較するかどうかを選択できます。

["同期関係の設定の変更の詳細については、こちらをご覧ください"](#)。

2021 年 4 月 11 日

スタンドアロンの Cloud Sync サービスは廃止されました

スタンドアロンの Cloud Sync サービスは廃止されました。Cloud Sync には Cloud Manager から直接アクセスできるようになりました。同じ機能がすべて利用可能です。

Cloud Manager にログインしたら、上部の Sync タブに切り替えて、以前と同様に関係を表示できます。

さまざまなプロジェクトで **Google Cloud** バケットを使用できます

同期関係を設定する際、データブローカーのサービスアカウントに必要な権限を指定している場合は、異なるプロジェクトの Google Cloud バケットから選択できます。

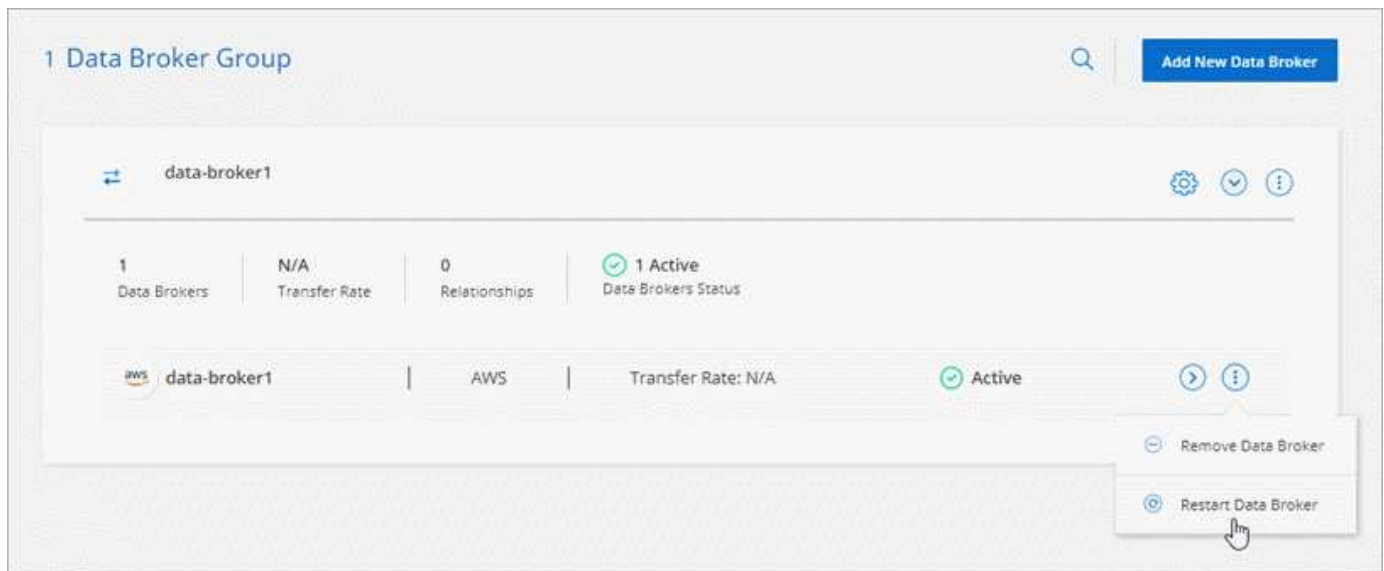
["サービスアカウントの設定方法について説明します"](#)。

Google Cloud Storage と S3 の間のメタデータ

Cloud Sync は、Google Cloud Storage と S3 プロバイダ（AWS S3、StorageGRID、IBM Cloud Object Storage）間でメタデータをコピーするようになりました。

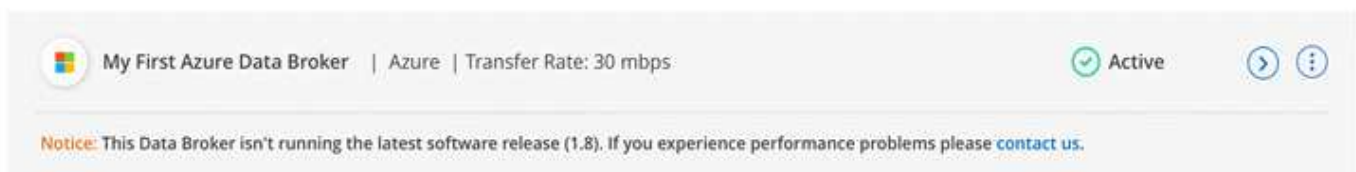
データブローカーを再起動

Cloud Sync からデータブローカーを再起動できるようになりました。



最新リリースを実行していない場合に表示されるメッセージです

Cloud Sync は、データブローカーで最新のソフトウェアリリースが実行されていないことを確認できるようになりました。このメッセージは、最新の機能を実際に利用するために役立ちます。



制限

既知の制限事項は、このリリースの製品でサポートされていないプラットフォーム、デバイス、機能、または製品と正しく相互運用できない機能を特定します。これらの制限

事項を慎重に確認してください

次の地域ではCloud Sync はサポートされていません。

- AWSの行政機関向けのサービスです
- Azure Governmentリージョン
- 中国

著作権情報

Copyright © 2022 NetApp, Inc. All rights reserved. 米国で印刷されていますこのドキュメントは著作権によって保護されています。画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体などの機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。テープ媒体、または電子検索システムへの保管-著作権所有者の書面による事前承諾なし。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、いかなる場合でも、間接的、偶発的、特別、懲罰的、またはまたは結果的損害（代替品または代替サービスの調達、使用の損失、データ、利益、またはこれらに限定されないものを含みますが、これらに限定されません。）ただし、契約、厳格責任、または本ソフトウェアの使用に起因する不法行為（過失やその他を含む）のいずれであっても、かかる損害の可能性について知らされていた場合でも、責任の理論に基づいて発生します。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、またはその他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1 つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許により特許、その他の国の特許、および出願中の特許。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7103（1988 年 10 月）および FAR 52-227-19（1987 年 6 月）の Rights in Technical Data and Computer Software（技術データおよびコンピュータソフトウェアに関する諸権利）条項の（c）（1）（ii）項、に規定された制限が適用されます。

商標情報

NetApp、NetAppのロゴ、に記載されているマーク <http://www.netapp.com/TM> は、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。